

## 17. 履歴表示

地図に履歴レイヤを追加します。

### 17.1. 画面説明

履歴

対象レイヤ  
農地筆 (農地筆・耕区)

履歴表示年月日

2009年12月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

履歴表示

- 1 対象レイヤドロップダウンリスト  
履歴レイヤを作成する対象を選択します
- 2 履歴表示年月日  
履歴レイヤの表示年月日を入力します。  
例) 2009年4月1日時点の履歴を表示したい場合は「2009/04/01」と入力
- 3 1年戻るボタン  
カレンダーを1年前に戻します。
- 4 1年進むボタン  
カレンダーを1年進めます。
- 5 1月戻るボタン  
カレンダーを1月前に戻します。
- 6 1月進むボタン  
カレンダーを1月進めます。
- 7 カレンダー  
可連打の日付をクリックすると選択した日付が履歴表示年月日に入力されます。
- 8 履歴表示ボタン  
指定した条件で履歴レイヤを追加します。  
ユーザレイヤ、関連図、計測は履歴を保存しないため、履歴レイヤを作成できません。

## 18. 透過

レイヤに透過率を設定します。

「地物」内のレイヤ透過率を設定する「レイヤ透過」と、「地物」と「背景地図」間の透過率を設定する「全体透過」があります。

地物: 農地、耕区、水利施設などの水土情報データ

背景地図: オルソ、ベクトルの背景地図など

### 18.1. レイヤの透過表示

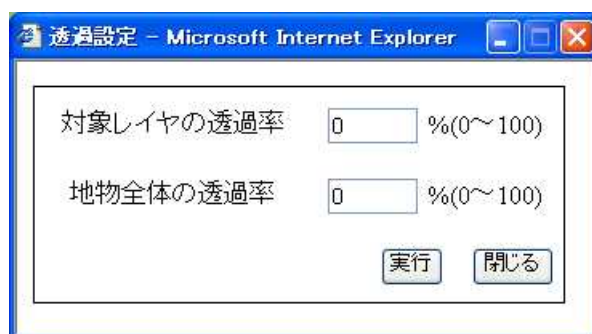
表示しているレイヤの透過率を設定します。

#### 18.1.1. 透過設定画面の表示



地図操作ツールバー上の「対象レイヤプルダウン」から透過表示するレイヤを選択します。

処理一覧から「レイヤ透過設定」を選択します。



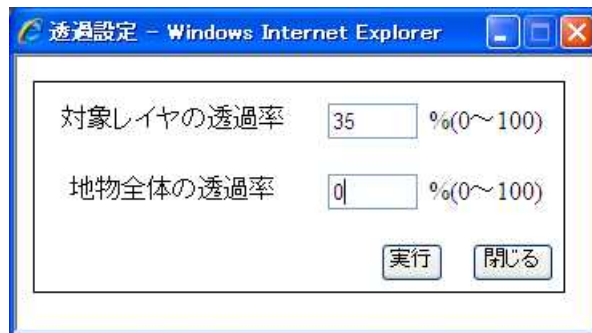
実行ボタンをクリックすると、透過設定画面が表示されます。

## 18.1.2. 画面説明

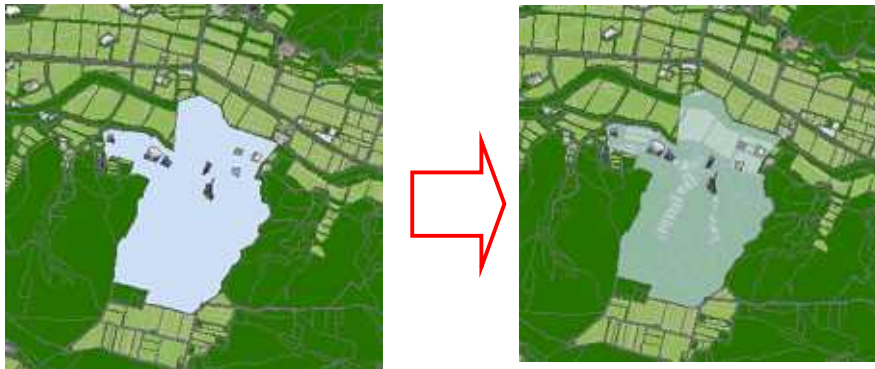


- 1 対象レイヤの透過率 対象レイヤで選択したレイヤの 透過率を設定します。  
(0:透過なし 100:透明)
- 2 地物全体の透過率 地物レイヤ全体の透過率を設定します。  
(0:透過なし 100:透明)
- 3 実行ボタン 透過設定をマップに反映します。
- 4 閉じるボタン 透過設定画面を閉じます

### 18.1.3. 対象レイヤの透過率の設定

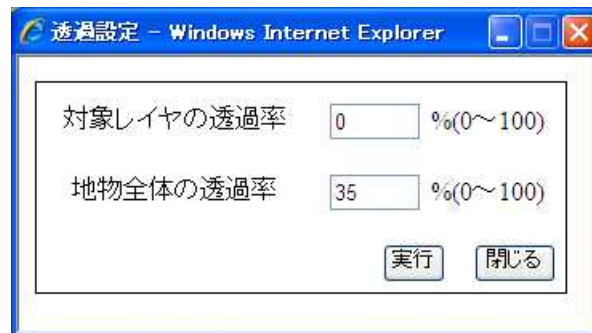


対象レイヤの透過率に透過率を設定し、「実行」ボタンをクリックします。

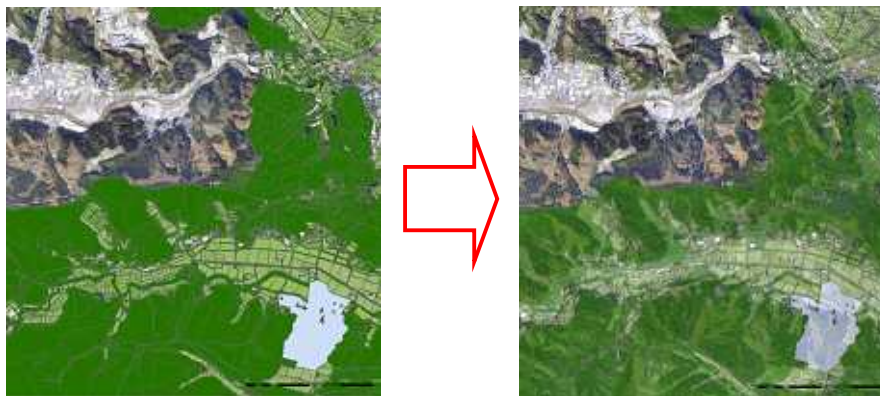


透過設定画面が閉じられ、マップが表示されます。図は土地改良区域(水色ポリゴン)を対象レイヤに設定し、35%の透過表示を行った例です。

#### 18.1.4. 地物全体の透過率の設定



地物全体への透過率に透過率を設定し、「実行」ボタンをクリックします。

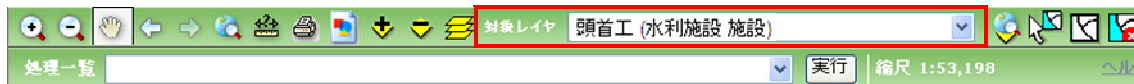


透過設定画面が閉じられ、マップが表示されます。地物全体を 35%の透過表示で表示した例です。

## 19. シンボル角度設定

選択したシンボルを指定角度で回転させることができます。シンボル角度の設定はポイントレイヤのみとなります。

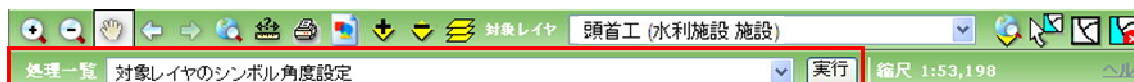
### 19.1. シンボル角度設定画面の表示と設定



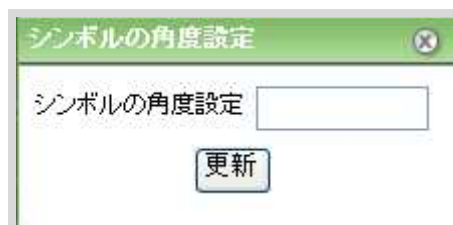
ツールバーの対象レイヤでシンボルの角度を設定するレイヤを選択します。



「地物選択ツール」でメイン地図画面から更新対象の地物を選択します。



処理一覧で「対象レイヤのシンボル角度設定」を選択し、「実行」ボタンをクリックします。



シンボルの角度設定画面が表示されます。角度(0～360)を入力して「更新」ボタンをクリックします。



シンボルが指定した角度で回転して表示されます。